

(平成19年6月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>6月期の野菜の市況については、果菜類の入荷が全般的に増え、葉菜類、土物類においては一部の品目で入荷減が目立った。品目別には入荷の差があったものの、全体としては前年並みの入荷量となった。</p> <p>価格は、入荷増の品目に加え、入荷減となった品目の一部においても単価安が目立ち、全体としては11%下回った。</p> <p>品目別には、トマト、ナス、生椎茸、人参、牛蒡が前年入荷を上回り、長芋、胡瓜、玉葱、白菜、キャベツ等では入荷減となった。また、前年より入荷が上回った品目を中心に単価安となり、入荷減となった白菜、キャベツ等においても単価安となるなど、消費の低迷が伺われる。</p> <p>根菜類は、入荷が5%増加し、価格は29%安となった。 葉菜類は、入荷が5%減少し、価格は4%安となった。 果菜類は、入荷が8%増加し、価格は12%安となった。 土物類は、入荷が9%減少し、価格は16%安となった。</p>
果 実	<p>果実の入荷状況は、スイカ、ブドウ等は、春先の天候にも恵まれ入荷増、一方、桜桃、枇杷、メロン類は入荷減となったが、果実全体としては、前年同期を5%上回る結果となった。</p> <p>価格は、入荷増の単価安となった品目がやや目立ち、果実全体では前年同期を3%下回った。</p> <p>柑橘類は、入荷が8%減少し、価格は16%高となった。 りんごは、入荷が14%減少し、価格は4%高となった。 ぶどうは、入荷が40%増加し、価格は12%安となった。 メロンは、入荷が19%減少し、価格は5%高となった。 スイカは、入荷が22%増加し、価格は16%安となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	<p>青森県,北海道が中心の入荷。天候に恵まれて豊作傾向であったが,入荷量としては前年並みとなった。</p> <p>価格は,消費の低迷から,前年同期を 1 2 % 下回った。</p>
洋人参	<p>兵庫県,和歌山県,長崎県,徳島県からの入荷。各産地ともに作柄順調で,入荷量としては前年同期を 1 1 % 上回った。</p> <p>価格は,太物主体の入荷に加え,徳島県,長崎県においては産地に残量が多く,今後も順調な入荷が見込まれることもあり,前年同期を 4 6 % 下回る結果となった。</p>
【葉菜類】	
はくさい	<p>長野県を中心に茨城県,九州産の入荷。長野県については準高冷地,高冷地ともに 4 月～ 5 月の定温と早魃の影響から生育が遅延傾向で,また,茨城県,九州産の急激な品質低下も重なり,入荷量は前年同期を 1 4 % 下回った。</p> <p>価格は,消費の低迷による入荷減での単価安が続き,前年同期を 2 7 % 下回った。</p>
キャベツ	<p>茨城県,兵庫県を中心に,鳥取県,長野県が続き,下旬からは群馬県からも入荷。鳥取県は作付け面積の減少から,また,兵庫県は前進出荷の影響から入荷減となり,全体の入荷量は前年同期を 6 % 下回った。</p> <p>価格は,消費の低迷による入荷減の単価安が続き,前年同期を 2 0 % 下回った。</p>
ほうれんそう	<p>岐阜県を中心に,北海道,茨城県,長野県からの入荷。各産地とも天候に恵まれ,入荷量は前年同期を 6 % 上回る結果となった。</p> <p>価格は,入荷増の影響で単価安となり,前年同期を 1 2 % 下回った。</p>
レタス	<p>長野県を中心に,北海道からの入荷。生育作柄ともに良好に推移し,大玉傾向で,入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は,業務加工,一般消費ともに堅調な荷動きとなり,高値推移した前月にはやや劣るものの,前年同期を 1 4 % 上回った。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>滋賀県,高知県,宮崎県を中心に,下旬ごろから福島県,京都府,愛媛県が続いて入荷。春きゅうりは前進出荷傾向となり下旬から入荷が減少した。また,夏秋きゅうりの出遅れもあり,入荷量は前年同期を8%下回った。 価格は,入荷減の影響を受け,前年同期を7%上回った。</p>
<p>なす</p>	<p>高知県,岡山県を中心に入荷。後続する徳島県については,初夏の雹害等により若干の出荷遅れとなったものの,全体の入荷量としては,前年同期を19%上回った。 価格は,入荷増に加え,各地とも施設生産分の終了に伴う品質低下が進み,下位等級中心の入荷となったため,前年同期を25%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>北海道を中心に,近郷産地も最盛期を迎え,全体の入荷量としては前年並みとなった。 価格は,順調な入荷のために単価安となり,前年同期を12%下回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>茨城県,大分県を中心に入荷。安定した入荷となり,全体の入荷状況は前年同期を5%上回った。 価格は,潤沢な出回りのために単価安となり,前年同期を12%下回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>長崎県,静岡県,三重県からの入荷。単価安の影響を受けて産地からの出荷が滞り,入荷量は前年同期を12%下回った。 価格は,メークイン,馬鈴薯ともに消費低迷による単価安が継続し,前年同期を30%下回った</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>兵庫県を中心に,佐賀県,香川県,大阪府からの入荷。一時貯蔵された物が主体であったが,前月の単価安の影響を受けて産地からの出荷が滞り,入荷量は前年同期を7%下回った。 価格は,入荷減により前月の単価安から回復し,結果的に前年並みとなった。</p>
<p>【その他野菜】 青梅</p>	<p>和歌山県を中心に,福井県,奈良県からの入荷。作況,品質に問題はなく,入荷量は前年並みとなった。 価格は,近年の消費低迷のため下落傾向で,単価安であった前年同期よりさらに12%下回る結果となった。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	<p>佐賀県,長崎県,和歌山県からの入荷。全国的に生産量が減少している中でも安定した入荷となり,結果として前年並みの入荷となった。</p> <p>価格は,前年並みの入荷量ながら安定した需要があり,前年同期を 1 1 %上回った。</p>
ふ　じ （サン含む）	<p>青森県産のみの入荷。保存事情により前進出荷されたために,産地の残量が少なく入荷量も減少,前年同期を 2 3 %下回った。</p> <p>価格は,品質に若干問題があるものの,前年並みとなった。</p>
さくらんぼ	<p>山梨県,山形県を中心に入荷。山形県が低温の影響で不作となり,全体の入荷量は前年同期を 2 7 %下回った。</p> <p>価格は,降雨,高温の影響で品質が低下したにも関わらず,入荷減の影響を受け,前年同期を 2 4 %上回った。</p>
デラウェア	<p>島根県,奈良県,大阪府,山梨県からの入荷。天候も良く生育良好で入荷量は増え,全体としては前年同期を 5 2 %上回った。</p> <p>価格は,入荷量が多かったために単価安での推移となり,前年同期を 1 6 %下回った。</p>
アールス	<p>静岡県,宮崎県を中心に,高知県,熊本県,愛知県からの入荷。いずれの産地も作付けが減少し,特に愛知県,高知県からの入荷減の影響が大きく,全体としては前年同期を 9 %下回った。</p> <p>価格は,入荷が減少したため,前年同期を 4 %上回った。</p>
アンデス	<p>熊本県,茨城県,山形県からの入荷。全国的に生育が早く 5 月が最盛期となったために,入荷量は前年同期を 4 1 %も下回る結果となった。</p> <p>価格は,入荷減の影響を受けて,前年同期を 1 9 %上回った。</p>
アムス	<p>熊本県,愛媛県,鳥取県からの入荷。全国的に生育が早く,熊本県からの入荷が早く終了したために,全体としては前年同期を 1 9 %下回った。</p> <p>価格は,入荷減の影響を受けて,前年同期を 9 %上回った。</p>
すいか	<p>熊本県,長崎県,鳥取県,愛知県からの入荷。主力である鳥取県からの入荷開始が昨年より早かったこともあり,全体の入荷量は前年同期を 2 0 %上回った。</p> <p>価格は,悪天候により消費が低迷した影響を受け,単価安で推移し,前年同期を 1 5 %下回った。</p>